

# フレンズ通信

Friends news NO.13

札幌医科大学附属病院  
看護キャリア支援センター



今年は暖冬で経過するのでしょうか…  
12月よりセンターは、次年度の企画に取り組んでいます。もう気持ちは2019年度です！

## 新人看護職員研修

今年度最後の新人研修である「フィジカルアセスメントII」では、2事例の症状アセスメントに取り組みました。グループメンバー全員で真剣に考えている姿が印象的でした！



新人の皆さんには今後も自己研鑽の積み重ねによる更なる成長・活躍とともに、数か月後には一番身近な先輩看護師として、後輩を支えてくれることを期待します～。  
お疲れさまでした。



## NEW 働くママ&パパのランチョ交流会 ママフレンズ

「ママフレンズ」は、育児休業中や妊娠中の方々を対象に2014年度から実施してきました。今回新たに、育児をしながら仕事をする看護職員の皆さんも対象に加え、8回目となるNEW「ママフレンズ」を10月に開催しました。

産前休暇中の  
妊婦さん

育児休業中の  
ママさん

妻が妊娠中の  
新米パパ  
さん

育児をしながら  
仕事をする  
ママさん

前半の交流会は勤務中の看護職員が昼の休憩時間を利用して参加できるように12:30から開始し、後半は昨年度に引き続きヨガ療法を行いました。

次年度もNEW「ママフレンズ」を行いますので、育児をしながら仕事をする看護職員の方の多数の参加お待ちしております！  
パパも是非！



## スキルアップトレーニング

今年度も達成表の評価の時期に合わせて開催します。技術演習を行い、達成表のD評価を減らしましょう！  
場所は、保健医療学研究棟ですのお間違いなく～。



## フレンズインタビュー 今月のラッキーライラック



今年度、実地指導者や日本救急看護学会での発表に取り組み、北海道胆振東部地震では被災地支援活動に参加した看護師7年目、高度救命救急センター病棟の新山 紗千さんにインタビューしてきました！

### \*被災地で行った活動は？

発災から約1週間後の9月14日に田口裕紀子 救急看護認定看護師、救急医学講座 水野医師と共に厚真町に設置された東胆振東部3町保健医療救護保健調整本部での活動に参加させていただきました。この段階では救命の医療ニーズに乏しく、支援者による活動から地域の医療に戻していくことが必要とされていました。このため、北海道災害医療コーディネーターのチームとして、避難者のニーズとそれに対する様々な救護班や支援団体等の活動内容をまとめ、行政や地域の医療機関と共有し、必要な支援は何かを考え調整していくお手伝いを行いました。



### \*今回の災害後の仕事を通して感じたことは？

厚真町での活動以外にも発災直後には院内で傷病者や転院患者の受け入れ準備、自衛隊車両を使用した転院搬送等に関わりました。他職種の方と協働する機会も多かったことや災害という制限下の環境でもスタッフ同士工夫して業務にあたったことが印象に残っており、普段の業務や看護の視点が活かされることを実感しました。今まで災害対応はDMATが中心となるイメージが強かったのですが、今回の被災地支援や災害時の病棟業務を通して、災害看護は日常の看護の延長上にあることに気が付き、DMAT以外のスタッフも積極的に災害医療・看護を学び普段から意識して働くことが必要であると感じています。

### \*これからの目標や展望は？

新人から救命センターで働き、現在7年目となりましたが、救急看護領域はさまざまな分野の知識を必要とするため、まだまだ勉強不足と感じています。今後は災害看護はもちろん、産科や小児救急等の知識を深めると共に救急看護の知識や経験を増やし、頼れる看護師になっていきたいと思っています。

札幌医科大学附属病院 看護キャリア支援センター

Center for Nursing Career Support  
TEL 011-611-2111 内線: 23190  
Mail career@sapmed.ac.jp  
Support URL <http://web.sapmed.ac.jp/career/>

